

令和2年第9回白石町議会定例会会議録

会議月日 令和2年12月7日（第4日目）

場 所 白石町役場議場

開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	友田香将雄
2番	重富邦夫
3番	中村秀子
4番	定松弘介
5番	川崎一平
6番	前田弘次郎
7番	溝口誠
8番	大串武次

9番	吉岡英允
10番	片渕彰
11番	草場祥則
12番	井崎好信
13番	内野さよ子
14番	西山清則
15番	溝上良夫
16番	片渕栄二郎

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一
企画財政課長	小池武敏
税務課長	久原浩文
保健福祉課長	坂本博樹
生活環境課長	片渕徹
農村整備課長	笠原政浩
生涯学習課長	中村政文

総務課長	千布一夫
総合戦略課長	木須英喜
住民課長	川崎直健
長寿社会課長	武富健
農業振興課長	木下信博
建設課長	喜多忠則
商工観光課長補佐	永石敏

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	小柳八束
課長補佐	中原賢一
議事係書記	緒方千鶴子

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

12番 井崎好信

13番 内野さよ子

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第95号 令和2年度白石町一般会計補正予算（第8号）

日程第 3 議案第96号 令和 2 年度白石町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
日程第 4 議案第97号 令和 2 年度白石町下水道事業会計補正予算（第 2 号）

9 時30分 開議

○片渕栄二郎議長

おはようございます。
これより本日の会議を開きます。

日程第 1

○片渕栄二郎議長

日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。
会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、井崎好信議員、内野さよ子議員の両名を指名します。

日程第 2

○片渕栄二郎議長

日程第 2、議案第95号「令和 2 年度白石町一般会計補正予算（第 8 号）」について議題とします。

これより質疑を行います。

なお、質疑の際は、補正予算書の何ページ、説明資料の何ページとはっきりお示しください。

まず、歳入関係で予算書の 1 ページから11ページまで質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、次に歳出関係で予算書の12ページから21ページの農業総務費まで及び関係する予算説明資料について質疑ありませんか。

質疑ありませんか。

○溝上良夫議員

説明資料の 1 ページですが、ここにサーマルカメラ 2 台の設置があります。サーマルカメラというのは温度のやつですね。自有館と爽明館、あと総合センター、有明公民館、ゆうあい館は設置してありますか。ちょっと確認です。

○千布一夫総務課長

総合センターとかゆうあい館等にサーマルカメラのほうを入れてあるかという御質問でございますが、9 月補正で国のコロナ対策の臨時交付金を活用してサーマルカメラのほうを 5 セット購入するよう予算をお願いしておりまして、現在、発注中でござ

います。まだ納品のほうはしておりませんが、現在、発注をしているところがございます。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

なければ、次に歳出関係で予算書の22ページ農業振興費から36ページの最後まで及び関係する予算説明資料について質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

説明資料の5ページ、6ページ、商工振興費で、コロナ対策ということで予算枠が100店舗、実績が81店舗ということで、19店舗ぐらいが申請をされてないということで、確実にみんなに情報が行き渡ったのかなというところが1点。

それから、次のページの6ページも一緒ですけど、こちらのほうに行くと予算枠は700事業者ということですけど、申請状況は397事業所しかなかったということで、実際は中身が、確かに役場のほうから周知とかいろいろされてると思うんですけど、ある程度商工会のほうでやってると思うんですけど、ちゃんと会員さんに行き届いたのかなというのが、確認ですか、そういったところをお聞きしたいと思います。

○永石 敏商工観光課長補佐

まず、ふるさと飲食店応援事業の分で、100店舗の予算に対して81店舗が申請されたということで、各飲食店のほうに行き渡っていたかというところの御質問だと思います。

今回、ふるさと飲食店の対象者100事業所、予算のほうをお願いしたときには、白石町内の飲食業許可の取得業者の名簿のほうからうちのほうである程度の該当者を選ばせていただいたところがございます。その取得事業者が143店舗ございましたので、その中から対象になるだろうというところを抽出して100店舗という数の予算をお願いをいたしたところがございます。

こちらにつきましては、ケーブルワンの行政放送、また町のホームページにも掲載をさせていただいて周知をしたところがございます。

それと、事業継続応援金のほうなんですけれども、こちらにつきましては、まず周知の方法でございます。6月5日に駐在員さんのほうに全戸配布ということで事業のチラシのほうを配付をさせていただいております。また、ケーブルワンの行政放送で5月30日から1週間、8月1日から1週間、8月22日からの1週間ということで3週間にわたり行政放送のほうに放映をしております。それと、町のホームページ、また広報紙の8月号にも掲載をしておるところでございます。それと、白石町のSNSのLINEによります発信も6月5日に行ったところがございます。

それと、今回の事業継続応援金につきましては、商工会のほうにも大分お手伝いをいただいたところがございます。事業確定後に商工会から商工会の会員の方々に事業

のチラシのほうを送付をしていただいているとともに、7月13日から8月いっぱいまでには商工会によります事業所訪問時に事業の説明をいたしてもらっております。それと、商工会会報の7月号、また商工会のホームページ等にも掲載をしていただいております。それと、7月28日には各市町の新型コロナウイルス支援策の紹介記事ということで佐賀新聞のほうにも掲載をされておるところでございます。

この事業継続応援金、700事業所の抽出の方法ですが、総務省で平成28年に経済センサスが行われております。白石町内では938事業所がございまして、その後、対象外、お寺、金融機関等が197、また先に行いましたふるさと飲食店事業対象者80事業者程度を差し引いて約700事業所ということで予定をしたところでございます。

予算枠で申しますと申請率は56.7%ということになりますが、今回事業継続応援金につきましては交付要件を付しております。予算枠700事業者のうち8割程度の560事業者ということで見込んでおりましたので、それから比較いたしますと70%を超える申請の実績があったと思います。そのようなことから、一定の成果はあったのかなというふうに考えております。

以上です。

○前田弘次郎議員

説明ありがとうございました。

大体こちらのふるさと飲食店のほうはこれくらいの数でよかったのかと。白石町事業継続応援金、これは少なかったというか半分ぐらいになったのは、ある意味前年度同月比で20%減じゃなければもらえないというのがあったから、20%落ちてないところが結構多かったんじゃないかなというのがこの数字では見れると思いますので、ある程度、私のところはもらいましたけど、結構もらってないところが、やっぱり20%行かなかったところが結構あったのかなということで、大体分かりました。ありがとうございます。

○溝口 誠議員

26ページであります。消防費、常備消防費、杵藤広域圏消防費負担金5,357万1,000円、これはここにありますように算定方式に誤りがあったということでございます。この全体の補正前の予算からすれば、約6分の1ぐらいの金額でございます。これが単年度だけの分なのか、いつからの分なのか、そしてなぜこのようなことが起こったのか、御説明をお願いしたいと思います。

○千布一夫総務課長

消防費、広域圏負担金の増額補正についての御質問でございますが、まず1点目、これが今年度分だけなのか、それとも複数年度分に係る金額なのかということでございますが、これはあくまでも今年度の負担金での増額補正でございます。

それから、誤った理由ということでの御質問でございますが、先日の開会日の日の後の主要事業の説明会のときに、私、少し簡単にですが御説明いたしました、改め

てもう少し説明をさせていただきますが、広域圏の消防費負担金につきましては、それぞれの市、町のその年度の普通交付税の中の、いろんな費目がありますけどその中の一つに消防費というのが、交付税を計算する中での消防費でどれくらいの需要額が出るのかという計算がありますが、その消防費に係る標準的な行政を行う上でこれくらいの経費がかかりますよという基準財政需要額という数字がございますが、その数字を基に広域圏の事務局のほうで算定されることになっております。その年度の普通交付税が確定するのは、その年の7月もしくは8月ぐらいに正式に決定をいたします。この広域圏負担金の当初予算の計上につきましては、当初予算を計上するのは1月、2月ぐらいですので、まだ交付税は決定しておりませんので、前年度の普通交付税の数値を基に杵藤広域圏のほうでは算定をされて、今年の負担額は幾らですよという当初予算上に計上する通知額がそれぞれの市町のほうに通知されているところでございます。それを受けて、市町が当初予算に計上いたします。

今年度は、白石町は普通交付税の合併の優遇措置が切れる期間で、本来の一本算定というやり方に戻る年でございます。そういう中で、本来算定上用いられなければならないある一つの補正係数があるんですけど、交付税のほうが増額になる係数ですが、それが本来増額になる係数を含めたところで計算をしなければならないところが、広域圏のほうで優遇措置期間も終わったんでこの増額になる係数は外されるだろうという誤った認識を持たれていて外したところで計算していたもんで、本来乗ってる額よりも少ない金額で計算をされていて、それを私どものほうに負担金は今年は幾らですよという通知があっていたところです。その額が約2億8,000万円ぐらいですけど、本来ならば3億3,000万円ぐらいのはずが、増額の補正の係数を外したところで計算されていて白石町に通知が来ていたもんで、その受けた額でそのまま白石町が当初予算に計上していたという流れです。

今回、7月、8月に普通交付税の今年の額が決定したときに、その額があまりにも差があって、その額が5,300万円という数字ですけど、今回増額の補正をお願いしたところでございます。

以上でございます。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

○友田香将雄議員

予算書の24ページ、説明資料の6ページ、白石町事業継続応援金についての質問です。

こちらは、一番最初のところに関しては基金のほうでの支出を一般財源としてされてたというふうに覚えております。それが、新型コロナウイルスの臨時交付金のほうで対応するという事で財源が変わったということで把握をしております。この応援金のところについて以前説明会のときにも御質問させていただいたんですけども、今回の交付対象者、また申請期間のところに関しては限定されているというところで、これはもともとの基金のところでの財源を出すに当たってある程度の線引きが必要だと

いうふうな議論になったというふうに思っております。基金のほうから国庫のほうに切り替わったということで、そこを鑑みればある程度このあたりについては今後変更の余地があったんじゃないかなというふうに思ったんですけども、今回この応援金を一旦事業実績として出されるとした場合、事業申請期間に今回該当しなかった、また交付対象者のところに今回入ることができなかった事業者に関して、今後この新型コロナウイルス対策の交付金に当たって支援する予定等があるのでしょうか。

○小池武敏企画財政課長

事業の継続応援金につきましては、この説明資料の中で8月いっぱいというふうなことで期間を設定をさせていただいております。交付金の分が、今年度の分については今回12月補正で医療従事者への応援金でありますとか、定額給付金以降にお生まれになった方への給付金、そういった形で今回追加で補正をさせていただいております。今回の交付金の分の見合いについてはある程度充当が終わるというか、精算額ぐらゐの感じで交付金がある分で事業を行っております。今後国のほうで3次補正とかそういった話もあっております。そういったことで、交付金の分が追加で各関係市町どのくらい来るのかも見らんとちょっと分かりませんが、取りあえず今年度のうちの支援金については12月の補正でおおむねこういったことで出そろったというふうなことで認識をいたしております。

以上です。

○片渕栄二郎議長

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これで質疑を終了します。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第95号「令和2年度白石町一般会計補正予算（第8号）」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第95号は原案のとおり可決されました。

日程第3

○片渕栄二郎議長

日程第3、議案第96号「令和2年度白石町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」について議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第96号「令和2年度白石町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第96号は原案のとおり可決されました。

日程第4

○片渕栄二郎議長

日程第4、議案第97号「令和2年度白石町下水道事業会計補正予算（第2号）」について議題とします。

質疑ありませんか。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第97号「令和2年度白石町下水道事業会計補正予算（第2号）」について採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第97号は原案のとおり可決されました。

以上で本日の議事日程は終了しました。

明日も議案審議です。

本日はこれにて散会します。

9時51分 散会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

令和2年12月7日

白石町議会議長 片 渕 栄二郎

署 名 議 員 井 崎 好 信

署 名 議 員 内 野 さよ子

事 務 局 長 小 柳 八 束